和歌食物本草

巻之上

= 1
2797

門二
2797

早稲田大学図書館
昭27.2.28受
藏書

和訓食物本草巻之上

い

草の部

芋 ことゝいうじゐひゐ〳〵なるいもの事よびやまとにてはしめ
いなもゝゆでゐりこゝのの月八月ゐ〳〵をべ〳〵なりしかこれゐ
いもとゝ名く〳〵こんだこゝよりはじてゐ〳〵よりのゝとしなべて
いゐて腸胃ゆくしこゝとゝてんこゝとよりるひて血をやぶるゐり
いゐてゐてゐどうこゝ名すなこゝゐりて脾をそゐるゐじ
いどゝてゐこゝゐれゐよいまゐめよめこゝこゝりめゐ〳〵ゐ乳ゐめ
いゐ広こゝひゐゐのゐれゐ〳〵ゐりこゝゐ八こゝよへゐんゐてゐこゝ〳〵ゐこゝゐれ
虎杖ハびゐんゐのゐ〳〵ゐゐ〳〵ゐ〳〵ゐ〳〵

いたりいちどでゝゆるつゝんびやう に はつくすべきうりてれりのふはし
いてりいとゝひとゝゆぶりのうわいてゝこゝとゝすふさらつべきうり

鼻子こゝ部

鼻後血子 平わちくぶくしひるわはとゝまりしてムりひゆんとゝ
いらごゝしてくゝゝんわくしこゝるうらくまんゝごりわしてゝぜんとゝだなふ
いらごゝしてゝかなんゝまけくゝぜんつゝてゝうりのうりゝさにゝすりるりゝ
いらごゝしてゝ血とわゝてゝじまゝ見わはまゝるり落とゝうくゝをべゝゝ
いらごゝしてゝりんゝゆらゆゝとゝうくゝするやへとゝうりりゝゝまゝとゝあゝゝるすふ

歯こ部

歯ハひゝゆてゝ血わひ白ひやゝゝんゝゝゝゝ血とゝうゝすゝなりり
いのゝゝいゝとゝゝりりひゝうゝ色にゝりゝりゝりゝゝゝゝたんとゝゝゝゝずる
いのゝゝとゝゝゝゝがとゝゝゝゝ

鰯ゐのこづくとをれるを目ぬきとりわきさいてふかぶみてうー
いりこらとそこうかすものぞうみいろやうくとゆとこうろぜし
いりこばかくこうくすをたんのごくしほれつくてこうやくするふりの
江掠ゐのこあうりとあうすものどしほしをてうさいやとうるり
いりこうとこうとかざるのしてうとどすいんの高かいそりうりうり
いりこうとうあうこうとどひこうりやうんつしこうるくゆとしの
薬鼠うんしとわしてうとどすどんとをれるひうんどこうるり
いりこうとかんけのうをりをうこうふうくをてうけやなりゆくうへ
いりこうとどつ〇よこ〇一百ひやこにのやこたらずしゆくじゆうり
鳥賊こをいおまこうあるこいれのこよひやこにこてゆうらこううり
いりいあくこをすすものどうこしーゆくじゆうーゆうーー胃とゆくうり
いりこうとこ胃をひすくうどすうりみこうりめれんすりうりうりうり

ろ　米穀し部

六条いこよひつこいこをりびうんうり脾胃とうりせこうくとすくひろ
ろどうこいひ〇こどうこいこうくすどうんどくせうとうとこあくみくうり

草し部

蘿蔔煮つ〇みんづんどうこうこのひ〇脾腎ひこうとり百ひやこにうー

法鰍し部

麻肉ハうんこうるこうくやうどうここよこをうり胃とうりしたらこのまず
ろくうあくうこうこれをこうりふのこれすこうこのふこうこて百ひやこうとうどと
ろくうえん麻をこれ〇ふくいこうやめこうとひやこてこうこよひあうどのふ
ろくいうく血のこうこうとひ婦れるふ血てこうがこうくしゆやこうこいこは
ろくこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
ろくうこうこれこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ

ろくちごれ痘疹ふきあらはれてくろくくろくなるとき
ハ　草部

藜蘆　蔓草のしるしなり　ぶどうのごとくなれども
そこべそちごれわかくしてくろみをおびたり　毒あり
そこべ　ちくさのこのごとくなれども　ちくさのこ
ハ　ちくさのこのごとくなれども　ちくさのこ
蠱　いうんぞ　ちくさのこのごとくなれども
そこべ　ちくさのこのごとくなれども　ちくさのこ
そこべ　ちくさのこのごとくなれども　ちくさのこ
そこべ　ちくさのこのごとくなれども　ちくさのこ

鳩 はなはだしわまりくるしく色さつまりくるしくかなしけれ
ども　ちからなくなんとかはなはだしくなりぬべしとて
ものくるしくて　ものよりはなはだしくなりぬべしとて
ものくるしくて　ものよりはなはだしくなりぬべしとて
ものくるしくて　ものより

草部

人参　ハ　わかさ　ぬか　ぬかみそ　ぬかのもち　ぬかのこ　ぬかのこ　ぬかのこ

わづらひのものぞ[illegible]
わづらひ[illegible]
わづらひせ[illegible]
わづらひ[illegible]
わづらひ[illegible]
わづらひ[illegible]
わづらひ[illegible]
[illegible]

蝦こし部

螺ハ辺海のきしに多く見いでたるものなり
みのてしひしほしたるを煮りて葉をあらひて[illegible]
[illegible]

蛸ハひのくちけとも申てちいさきうを成だしすまふ
[illegible]

ほ　穀こし部

法海味噌ハ[illegible]
[illegible]
糒[illegible]
[illegible]
[illegible]

と　穀こし部

豆腐しとひえりのどろ豆こうさだぐどんさだぐ
とーそーそーとうどうすどーどうりだいこんぬぬじ
草〻部
野菜うんうてんぐ〻ぐさとちーもぐうーうとりーしとりまふ
とーわしてうんごかーちーうーくーひひーいーひいーこれーまうもし
とーわしとーうーあうりのてーうーうする中さまれ今ふうーいしもし
とうてうーうーうあーらーてうーすあすぐでいてどーやれーいだう
とうーうーうかうーすとーうーすーすわい脾腎ぬうり白ーうとぐぬふ
雞冠ハあいよぐ〻白ーうぬらすーやーあつじーうーとすーしふ
ふーさうハつ〇ふーうーやよ月れうすりーえーふーのーさーめーぐーうひよーうり
とうーざうハあ〻ーうーうしてらとあぐーうんつじーやーとーうすーうり
巣〻部
雞巣ハうんぬりのあうりぐんやーぐあうーうぐりーしーぬぬーうり
とびーうかハひかをとーのくーうーすあいんつくーすーつーよーよーあーー
とびーうかハらーくーうひーうんのうぐーうーうーとーしーうーめーうりぬーてーらゆーせ
とびーうかハ百びーくーにーうーどーくーー白ーみーへーちーくーぶのーすーうーりーうり
とびーかーいーうーひぬーすーうつ〇ふーくーうーてーうーやーこーらーくーあう
とびーうかーへーうーぐーくーあうぐ出ーやーどーあーんーらーくーうーひつーれーやーとーうふ
とびーうかーとーひーすーくーうーうーうーうーさーうーとーうーゆーとーうーとーうーてーいーのーうーとーうーぶ
雞巣ふーうーのーどーぐ白百びーくーふーあーらーぐーうーのーさーやーうーくーゆーとーく
出し部
とーぐーさ貝ひーえーりーのーひーあーとーうーさーてーのーくーてーあーうーこーうーぐーりーさーてーとーしーうーりーのーく
とーぐーさ貝たんとーけーとーうーあ巳ーやーど巳月とーあーこーうーふーうーつーとーひーと

ち

穀こし部

粽屋いわまくず屋ひいらぎ屋ちまき屋ことぶき屋にりんの
くすり

草こし部

苣ぢくえんるりみ屋いれのさえんとにさらすめとしゆやし
ちさはこをらそひてひとをしてさとどすめ
ちさはてちこをつくにそりみざくとてて歯をつくすう
らさはてひらくとそうつびりりまくてうらとのやしてすれ

おこし部

茶ーとこすにひえしのせーだんこつじそ袖ひろこ面とりのるり
ちやどそこ玉こ玉こりするりきこでそりうきとあてる外つとうら
ちやこそこ宮ありこそ宮とひるこりびこてひこすり袖こ面とりの

ちやはつひようすくわうきとこのしぞこのるきこそたんよきくこうり
ちやこそこ袖つきとと面とりのるれるるきとと弟じやこきひるうり
ちやはつひみ屋ぞこうんよ宮りみとみ弟じやこきひるうり光よこのこうりのへよみ一にくり

り

菓おこし部

体橋こんのぐうひのりこ玉こ袖つとあてきとこ玉ぶす
つんごこそうくんみこうりこせひのりこそうくこひるり
つんごこそこれいこをとひるれみいうれをとひるりくり
つんごことばあくこうくするたんやすちをどとどてよどおれ
見んごことばありこうするやつ袖つをこうひりつこ玉二

ぬ

穀こし部

糟味噌ハひえしのるるどやちこれくりのくらすとこそぞし
ぬつこそ八月ひどくひよみ宮ひこすこ三どりてのくらこくるり

ぬうきそハ山ゆくに胃とをとをとてきらとしろ

と　穀し祢

天炎ひき　天炎ひきてゆくうえみびりんうきそ代伊すひくくしろうり
ゆひぎハ中とてのくさ紙ちびしきよらめぎうへとうきく
天ひきハぎっちしきそゆすちしびきうんにてくそろにうー
天ひぎハ胃てふをつげうかのいろうかてえ神ぎきろるり
天ひぎとりてきうくやぎちりひぎれうりのぎしゆぐし
天ひぎとひきしくきりしうこひけれきろすーぎうきるりうめ

わ　穀し祢

まうゆとあさとく一ぎきうすわが胃てふうかえをきとます
まりゆとあやきうくするそくふゆぬんこげうきう神ーれを

草　こし祢

穀こしてあまくひえりのわーすぎをうくすえりのてしきてうー
まびーそ月のどくみうこ紙けれあうえのうりあくきうくする
まびきうあきるれのふいみうくいあーうえつりよりくこうー
まびとぎきうりてひえきうえよりあそとるうりぎんぬぎくうり
まびそすぎりわ神きそうりちぎうろけかてしきうー
海帯こしてひえりのうきれとくぎしゆすりのきゆぎし
まうあこしてきうこえれぎとりすぎしていひまたらん
まうあこしてえきうんときかそくきれすぎてきうりやせん

こし

鶏のこと神うきうとぎーきすうきれぎくせ海ぬーちとをーきうり
ぎえのうきとゆにてのちいぎくうやきぎーうきすあてすきとうみぎー
まふいきてひゆきとうりうこやすうりきんどんきうふうくうきとりの

か　穀し部

[illegible]

[illegible]

[illegible]

桝おすわるくたんをするのるをあてるこぐるり
かじるくふだんつじるれどもむこれどもんだれあるこりのるり
かじるを腸胃の弱つをあすりのたどれいるひすじるをもこ
様わるくひえりのるわどどくいるこをれたるつじこしをすれ
るきいてらるとれるひえんをいとるかりてみるるきをどるこじ
るきいてたんをりて胃をれるくちをるくよわるこてどるれ
るきをるふどるこるくをれをはるいてるるびどるりのをるもし
椹おわるくうんまるびはれるりすんどるのひるるをすりの
るいなるくるるくとけをるりすどりかるをあるげ目をわるくふする
るるるくをるくするりのるれやみるきるるをあるびにるり
るのををひをるくるるしを百びやるにるるるるりのひるるるり
褐栗はわるくるるいるてどるくるるるるるるるるるるるるるふ

るるるをるるるふるて百びやるにをるるるるくるるるるるるるるる
るるるるをるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる

獣しる部

廉かるんのるりるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる

うのはなのもとにたちよりて
うのはなのもとにたちよりて
あとにて十二月にうすのうらに
あれてかりとりすぎたるこれをうりて
あれつゝすぐりとりてこれをうりて
あれつゝすぐりとりてこれをうりて
鼈はさくらの枝つとにあすのうりて
うりあはせこれをかぎりとしてうりて
うりあはせこれをかぎりとしてうりて
うりあはせこれをかぎりとして

がんとして六七月よりそうそうのあいだ[illegible]りのうり

奥しの部

比月なしいきとしてなるひてさやとうくゆをとらすにてさとうすく
鮫うんわうくどくにけやどゆをよびやしにのこたらざりそり
ゆすうこそたざうあざうはさうくまんどんとそだるひをぐへうかす
ゆすそそとろくすうつふうのとひげろくるぐくすうりう
くうけへわうくすとしいうんのりのうさとくだうそらくまうすうり
くうけへうろうさまのりまくすびすずりひうくすうとうさけ
くうけとひえくうとんうさうくまうのりすいをありうらいんとうう
くうけうらぐやどんようけりまてううさだぐうりうてうへとうせ

出し部

蟹ハひへうとうをふうくいあとれるくすしもみしてありうれ

かみいくしひのいうりとうゆすうりあるしだうりあるしたく血をだうあう
かふかうくうのとうりあるりうさんをにうりしりはうすのあるし
うふうびてみあうちうをみとうくうくすわびれとうすうさとうくうす
ふううひてどくとたうらぐたうはうをくうりれたうとのひぐし
牡蠣貝ハうぐうこうたるいびんうくんれ強うあるとのうり
くうくうそうのあうりとあくすりのうれやいうりがうくうさをしうひう
くうくうそうこうをうこうとうぐのすりのだうあうそくとひうりのう
くうさうへくうくうとうれりのやあせとひうこうのやひひれいひあそれ
くうくうそうたふうちうくうとうぐうすれやどひやみいやるりうふうう
くうくうそういうけすうぐうそのうらひひうくうこいうりうくいうすりうりうそう

よ

米穀しの部

艾絣わうくるいうりうとひとうるとひとうるのうり

ようぶりら血とくとくとしてゝ藤時のゝ子月ゝあゝ人よりらいゝ

名ゝし部

蔵雀なゝいゝゝくらごてゝゝゝ

蕭公はあまくあるいるりぎく
たんかくいとんをしちつさそれ
たんかくいせうだんをげさくん
箏はあまくうんるりうちさと
たけのこに月とあさくうふ神
たけのこいはぎくとを色さと
たけのこはあせとてすといげす
たけのこをちひんぱつく月す
たけのこをのあかがとうとうとくこさらんだへ
たけのこをの三みくのあかがとうとくこさらんだへ
たけのこはむしうとるうとうのどくけと胃がせとうう

菓子し祇

橙はみぐくうんるりうちくせで肝を乱とりかうはのすこさ
たけのこはむしうとるうとうのどくけと胃がせとうう

稽のとりあまくあるいるりさとをぐすとりうひてらのこちあり
たくはるあかうとうすみ月そうすじうんあさあをさはるれりの
雑部　ちあはぐうとあくびうんぐひとりやあんにくさらふうさとーやぐる
ちあごーそうとりそくはむさんのくらちをとそぐで月はくさこむ

獣し祇

狸うんはあるうんぐにあくいあちとるふり月こそすひうれ
うねさとぐあかうとうすみちぐそうくこうれりのやうさはぐるり
うねさあくうらはかくはうりはうびなすきあ

巣し祇

鯛はるくうんやしやしなりはをひはるひぐやくこさとぐど
たいはあくひるはぐんさとをくあのるふはくとてこり

たいはあをとぢかひたりとをいなりそんどんよきこんよりさしの
鰯のうとをえんれりのをてをこやひあのひえつをてをうをとをを
たをはあをれとをうをすはをうをんれのちをひををえをり三す

出し部

田螺ををたんれりの月はをられ祝やをあをいをむあををられ
たをりをををうをきをのあををはををひををられをうけのをれをいをむあをは
たをりをををえふあをんををつじををりあををはををはをすりのをなり
たをりをををあをきをはををりををのををふをつをまをををくをいをををの
たをりををひあをををすをををらをををををををををををををををををををを
鍋ををををををををををををををををををををををををををををををををを
たををををををををををををををををををををををををををををををををを

う　穀し部

蕎麦をををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををを

つ　草名し部

つをじをんれりのをりをすをじををりをををのをりをにをををををををを
つをじをりををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををを
鶏ををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををを

ね　草し部

鼠尊ハ[illegible]

猫ハ[illegible]

鼠こそのびつゝひまゆゝごとくなれ[illegible]

[illegible]

[illegible]

菓子部

東京とおぐらのかりんとうのもとは三ぢとうの
ちゃうめんかりんとうのもとは唐ぐすりの
るつぼにて白ざとうにてこねたるものなり
そこのうへにてかりたるうんかの百やくにてげふくり
るつぼにそこなどをのぞきてこまかくなるまでかきまぜ
るつぼにそこんちのごとくするなり
るつぼにびやうにてこねたるものなり
梨子ぢそこんちのごとくするなり
かりんとうのもとはさとうにてこねたるものなり
かりんとうのもとはさとうにてこねたるものなり
かりんとうのもとはさとうにてこねたるものなり

鄭し部

鰊煮こぶのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげそこんぶにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり
るまきげあいこうやのもとはさとうにてこねたるものなり

なすあまこ　こんぶ　ごまめ　ぶんたん　ぶどう　ぶ　ぶ　ぶ

うぶすなのもりのこずえもうぐいすのこえ
なれてそのうぐいすのこえのうつりてすぐ
なるとうぐいすのこえ
うぐいすのこえのうつりてすぐなるとうぐ
いすのこえのうつりてすぐなるとうぐいす
のこえのうつりてすぐなるとうぐいすのこ
えのうつりてすぐなるとうぐいすのこえの
うつりてすぐなるとうぐいすのこえのうつ
りてすぐなるとうぐいすのこえのうつりて
すぐなるとうぐいすのこえのうつりてすぐ
なるとうぐいすのこえのうつりてすぐなる
とうぐいすのこえのうつりてすぐなるとう
ぐいすのこえのうつりてすぐなるとうぐい
すのこえのうつりてすぐなるとうぐいすの
こえのうつりてすぐなるとうぐいすのこえ
のうつりてすぐなるとうぐいすのこえのう
つりてすぐなるとうぐいすのこえのうつり
てすぐなるとうぐいすのこえのうつりてす
ぐなるとうぐいすのこえのうつりてすぐな
るとうぐいすのこえのうつりてすぐなると

[illegible]

の　類

醬汁はなをしそまぜらゆべてしほ[illegible]
ぬ[illegible]目とおさへふまりとうさきとゆでさよらぐとこ

く　穀

黒豆はあらびはあらくをいりのものさいさやとそろふり
ちまめはをのめをりそうくとけをひのれいろの胃ねろの
ちまめどかみそれあつひふろへどんどそろそりろそり
ちまめはらへふりうえのいきれのさたとろうのをし
ちまめは目とおさへまふりまりしりしりまじひろのまゆで
ちまはまれをのみまりりつひふまりくやまろくまろ

ちまめかいのまてをとをとをと

たきだしうんあいのあぶらにてあらひあらうべし
ちうとうとこゝろみるべしこれ胃損するみこゝろをこゝろとすれば
ちうとうとこゝろをこゝろとすれば小ぶんとこゝろをこゝろとすれば
茨菰こゝろをこゝろとすれば三人のあるこゝろをこゝろとすれば脣ぬく
ちうとうこゝろをこゝろとすれば四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば二十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば二十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば二十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば二十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば二十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば二十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば二十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば二十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば二十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば二十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば三十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば三十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば三十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば三十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば三十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば三十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば三十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば三十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば三十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば三十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば四十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば四十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば四十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば四十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば四十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば四十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば四十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば四十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば四十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば四十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば五十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば五十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば五十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば五十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば五十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば五十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば五十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば五十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば五十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば五十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば六十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば六十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば六十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば六十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば六十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば六十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば六十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば六十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば六十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば六十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば七十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば七十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば七十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば七十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば七十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば七十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば七十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば七十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば七十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば七十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば八十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば八十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば八十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば八十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば八十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば八十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば八十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば八十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば八十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば八十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば九十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば九十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば九十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば九十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば九十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば九十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば九十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば九十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば九十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば九十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百二十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百二十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百二十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百二十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百二十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百二十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百二十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百二十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百二十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百二十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百三十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百三十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百三十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百三十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百三十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百三十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百三十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百三十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百三十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百三十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百四十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百四十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百四十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百四十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百四十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百四十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百四十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百四十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百四十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百四十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百五十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百五十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百五十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百五十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百五十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百五十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百五十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百五十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百五十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百五十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百六十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百六十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百六十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百六十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百六十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百六十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百六十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百六十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百六十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百六十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百七十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百七十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百七十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百七十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百七十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百七十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百七十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百七十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百七十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百七十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百八十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百八十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百八十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百八十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百八十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百八十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百八十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百八十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百八十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百八十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百九十人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百九十一人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百九十二人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百九十三人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百九十四人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百九十五人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百九十六人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百九十七人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百九十八人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば百九十九人のあるこゝろをこゝろとすれば
ちうとうこゝろをこゝろとすれば二百人のあるこゝろをこゝろとすれば

胡桃[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

菜萸のわらわ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

合合しこうん地

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やまのいもはあらくとこどもをさまくとりてふぐりをつくる
ものはしくとおなじさまにして初のさまにしてまくらしろめるり
ものはしくはあれども三ぢにてまくらのかしや歯をくそんぞるものもちろぐし

名しの部

山名はうんかのあるりさうをれをそとがとろめとこちろぐし
やまとりとあるりさうすかぢれぐぞうぐどぐ同をそくさらをくこそく

獣しの部

山物はわるくなるるりさうんこをうこにてまんびやうりう
やまとぬはものうらはりすぢれをとりてこをうくゆをうろ

ま

穀しの部

豆はなはわるくぐをものはををくもぐぐんとをれをふ
なめをとうはりをうくするこをいはまひしぐをりうくゆひ

まめをたはらどうぐをしてくこをくぐをくをくめとはぐ

草しの部

松葉はわぢうひはのうくなるはのあるもくこをあの根のをうくゆを
まわぢはあれはをりをすぐをものをはぐ
まわぢはあれはをりをすぐをんぐるしまるものとうぐし
天蓼はかるくうんるうたんをうるはをくちたををもんすりの
まうこぐはいりゆくぐをやをんひしまををくをおちををぐこをり
まうこぐはいはるをわくをわれるををこのををうこをしをををうぐし

奥しの部

鶏はうんはぐうはわうくこををぐゆをもをりをくすゆを入ををこう
はををうひはあれををりをすかちをはゆをるしはゆをぐをうぐをうこ
をんりををはいぐをはんゆををうひゆを入はたんゆを大ぐをぐ

学問わすれ給ふ
まふろうへひなるとつとにそくすまりて
まふろうへそよびつしにはのそたらひどうろうんまとんどくのもの

蛍の部

蟬わすれうんけのうらうんけのうらうそんぎるひこだりてうこし
はれしとのひるとかざるひしこれらふうりとゆうへうそうくはよ
まれしとのいうのこどうれめうわどやうんののうちそうくすどうす

け　草の部

鬼子とのわどうひわうくなへれの風とあてにを結つうりう
はしとのうくこだりてうこひうるりそうこどでれんどそうどく
はどうとるうそうすかどうそうんれうとうとうるめとうるどし

ろし部

喩不智愚人のすりどうにを痴癡のうをりうてどをうり
けらうれひうこをふをうるりうるやうふてをのわるふ　ゆを

ふ　穀しし部

陳米はりあをゆ　ゆうるうを胃ふをどるひをりうくうこ
ゆうこあをうをしをゆどゆうどうわしてうどをひうりのうり
麩はわうくひをあめをうをどうにはをれどうをひうこうのうり
ふうをうどいうりをるをうをのどうりみのひるをうをのへうりり

草しし部

歎をうをうわどうひわうくうんれのうんをめどうれのをは　ゆ
ゆうれたうわうくにをてうんれのうをうをのうをうくにどううき
ゆうれたうもんれねどうにをうくすどゆ目をはうをうふすゆれをうし
ゆうれたりゆんをうをうりゆふうるうれすうをうをうくゆを

やさいたけのこ　ぶどう　ぶどうしぼりかす　ぶどうしぼりかすのこ

菓子部

葡萄　ぶどうのかわ　ぶどうのしぼりかす　ぶどうのこ　ぶどうのこのかわ　ぶどうのこのしぼりかす　ぶどうのこのしぼりかすのこ　ぶどうのこのしぼりかすのこのかわ　ぶどうのこのしぼりかすのこのかわのしぼりかす　ぶどうのこのしぼりかすのこのかわのしぼりかすのこ　ぶどうのこのしぼりかすのこのかわのしぼりかすのこのかわ

巻柿　わかくうんだのをうりかきとわかくもしぶがきをうりかきとふるいぶがきをうりかきとふるいぶがきのうりかきとふるいぶがきのうりかきのかわとふるいぶがきのうりかきのかわのしぼりかすとふるいぶがきのうりかきのかわのしぼりかすのこ

ふるいぶがきのうりかきのかわのしぼりかすのこのかわ　ふるいぶがきのうりかきのかわのしぼりかすのこのかわのしぼりかす　ふるいぶがきのうりかきのかわのしぼりかすのこのかわのしぼりかすのこ　ふるいぶがきのうりかきのかわのしぼりかすのこのかわのしぼりかすのこのかわ

ふるいぶがきのうりかきのかわのしぼりかすのこのかわのしぼりかすのこのかわのしぼりかす　ふるいぶがきのうりかきのかわのしぼりかすのこのかわのしぼりかすのこのかわのしぼりかすのこ　ふるいぶがきのうりかきのかわのしぼりかすのこのかわのしぼりかすのこのかわのしぼりかすのこのかわ

穀部

小麦　こむぎのかわ　こむぎのかわのしぼりかす　こむぎのかわのしぼりかすのこ　こむぎのかわのしぼりかすのこのかわ　こむぎのかわのしぼりかすのこのかわのしぼりかす　こむぎのかわのしぼりかすのこのかわのしぼりかすのこ　こむぎのかわのしぼりかすのこのかわのしぼりかすのこのかわ

草部

牛蒡　ごぼうのかわ　ごぼうのかわのしぼりかす　ごぼうのかわのしぼりかすのこ　ごぼうのかわのしぼりかすのこのかわ　ごぼうのかわのしぼりかすのこのかわのしぼりかす　ごぼうのかわのしぼりかすのこのかわのしぼりかすのこ　ごぼうのかわのしぼりかすのこのかわのしぼりかすのこのかわ

ごぼうとあひびきとうふのうらをとじたるもの

ごぼうのめぶとうふのやきぐしをうばれたるもの

ごぼうとうふのいりどうふ

ごぼうとうふのつけあへ

ごぼうとうふのこくしほ

十二月いまやはじつかぎりのもの

蒟蒻ハのづくうんどうどわるのもの

ひんあくのごとおりて血とびすぎたれのもの

異物ととわるまこのくうんれのうさんれのやとみのぶこれ

二部ひめ魚つうふのそこまでわやうげもとびやうにんよびこ

菓子の部

胡椒とかく大うんこと中とゆてあうとのぶくけと

こをとうらをとうらをとうらをとあるこさのぶくとけとたり

二色うどばかりにてくする脚そんとびやうにんよびこととらくすのの

二色ゆてわごこととのへてんひるとうるとうとうと無ひぞくこをと

鶏しば部

酒のうわくなるうりしろくなるうりしろくれるうりしろくれるうりしろくれ

こんのことはあまりこしやうのものとしてよみこうくすべからず
こしやうのものはひねりたるまこうくすぜんいのちくいえんりとしれ
鮭わるくなるものはうり胃をひらくやとうて人をとうり
こしやうをうりはみをわるずれとすくなふうそのとれ

江　穀し部

駿豆わるくなるものはうりどくしたこさろうとてのめばすくうり
ちんぜんへ中とあるとうりみこうとたびうふうそめりくそくするか

奥し部

鮭ハあくいのちひわるくなるものはうりうりうりうり
ちいはやくてんよりうるとたびうるとしうえ中にうり
ちいはのかうこんらんうこのやうやどめうんまへいるとかうら

出し部

鮭わるくなるものはうりうりうりうりうりうりうりうりうりうり
ちいはのかうこんらんうこのやうやどめうんまへいるとかうら
ちいはのかうこんらんうこのやうやどめうんまへいるとかうら

て　米穀し部

田米はうんめそづやうりうりうりうりうりうりうりうりうり
てんぐくはうりやうりうりうりうりうりうりうりうりうり

獣し部

狐わるくなるものはうりうりうりうりうりうりうりうりうり
てんぐくはうりうりうりうりうりうりうりうりうりうり

わ　穀し部

粟米はうりうりうりうりうりうりうりうりうりうりうり

ひこあいうきのやまひ　若やまひみいとうとくしろものなり
ひのたしなうゝ　をづくこあ三てくすあやなんつじそへうわすす
ひいとかくれ　やまひよとうすうとてひこうとてますうものの
飴糖わすくうんれのるうろ　とめ脾胃とやてけ脉とうとすす
わめくてこうとんとだるひそわく血ろうこうやれわばこすぐうんば
わめしとこのみぐこうとすすめるれやあやこすくするれとうこうと
わめしとこのうとのひとすとのてにさうあのごうこれよあやくこすが
赤小豆ことおすまゆくねぶぐこ豆こうとこだて強ぶ血すこうす
うぐさこしこうこれのうこうとうろ小をこうじんぐうこうこうこし
ぐさこうとうゆやうこうろとめとけめうこうすこうこすが

草こし部

ぐこ
猪ぶ　ひとぶかけたのこうろ下血とうとうこうもの　なり

ぐここしこしわけのうこやこすぐこうとつぐぶけひこうこうと
ぐこここで大ぶるんこうのゆうこうとやひうりるとうこうこうこすく　せよ
ぐここことうこうこうひこうしけこうとうこうこすめぐこすうものとこうこ
わぐここはこるくこうんうりこうのるくこうとうこうこうこうこうすうう
胡葱こうくこうんうりこうのるくこうとこうこうこうこうこうこうこうう
わこうここ月とおこうこかふけこうとこうこうこうこうこうこうこうこうう
わこうこことおこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうう
陳蒼こわうくこうんうりこうのるくこうとこうこうこうこうこうこうこうう
わこのこうい胃こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうう
わこのこういこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうう
紫菜こわうくこうんうりこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうう
わこのこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうう

蔡ことわざつひわすれ
わざことひねにやくめ
わざこのすくなかつと
わざとばらやうさんさ
わざとばらやまふてほ
ひみさんど用まゆゆそのしも
鼻みしの部
香子ことわざゆくわ
わんどとばちどぶすこ
多し部
毛蟹はまこうわすく
わとこばへ脾腎のこと
わとこれしふんとすわめ

奥し部
鯨ひねひねとなつげすぢ
わゆはてつぎとぎすすのそ
鮫はねいこよびつこに
わらしとこらすこひ

蚓し部
蚯はんのりのりこすく
わつぶは骨とずくなに
わつぶふれひゆとあて
石決明こわびつあくな
わつぶとばひこしこと

さ
穀し部

酒にてふかしてすつりの百びやくぶくすのこれ
をけいてこさうにめぐしつゆやこうにんるこをこうのぞ
をけいそのわさをたて胃とゆぎり強をけをえ脾とゆうをり
をけすぎたるのぶたんぞのがりがうこひまびらをぶあこう月どまよ
白蜜をわまくるをうりこをとぞすのぐとぞのひ中とゆをとりの
をぶをを十二をくをやくたをとりをりを胃わをあえをとぞのふ
をぶをばつのよをうくやまぶんやーりをめぐをすりのぐーゆをー
砂糖をんわまくぐ臣酒ぐくをすをうをこをーをて脾胃とやらーぐ
をたをうをを胃ぶたをたををうのるわやあ行ちをて歯ををんずれ
をたうこをたらるーれ鯖をこ面すのをるぐてりあくをうり
をたたをたるををたりぶたをらふをりうんぶりーてをまいをこをの
巣し邪

巣し邪

山椒
椒をうくをうをりりーゆーりの月ををうふををうくをすを
をんやーををりのをーぶんをうくりりをりりをりをりをりをり
をんやーをーをぶをーりをりをりをりをりをりをりをりをりを
をんやーををををりくぐをすりのぐをりりをりをりをりをりを
をんやーををりをりをりをりをりをりをりをりをりをりをりを
をんやーををりをりをりをりをりをりをりをりをりをりをりを

巣し邪

鮫のをとをりのりりり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きうりと百びやくぜん胃とをうけおろうこうかす
きうりとぞうにんようくいめあらすらんれけいどうらの
きうりとぞうにんひてつこうするおうとうをそうぞし
耳はいろくゆまようりうれどくいやうんじめれまにうりどうれ
きうげうりひうりくるしりのさうとうどうしてきうとうくする
きうげいろぎいやいげうきうこうとうのあけにうとうりうりう
きうげいろ月をいとうとうれゆう癖はうりうすとうふだー
きうげいやいじゆうよりりのうしれいうじゆうりう
きうげけずいくりうきりのうれどうこうしてうーとくうれ

一

蕈よし部

うりうんいろ月をしてうんりのうけとうをてうくとすしゆう
うんうんいろ度ようしいうりうりうとめどしてたんとうくりう

一

鍋香いろりうむくしてたいれのうまやいうりうりのとしかなー
ごりうりんいろんとしてうすりうりのどーいうぶてんんりうりのうう

魯よし部

雑うう月をゆしてうんれのゆをれのひうどりうくうじむ
うりうりうりいうりうりうりうりうりうりうりうりうりうりうりう
うりどうどうどうりうりうりうりうりうりうりうりうりうりう
うりいうりうりうりうりうりうりうりうりうりうりうりうりう
うりどうりうりうりうりうりうりうりうりうりうりうりうりう

獣よし部

狐うりうりうりうりうりうりうりうりうりうりうりうりうりう
うりう絲うりうりうりうりうりうりうりうりうりうりうりうりう

ゆ　穀ぞく部

湯漬食うつ〻ゑ
ゆづけ　ちゃ〻　胃　ゑ　ゑ

菓子部

橘　ゆ　ゆ　ゆ

[illegible]人より[illegible]とびのそてハゆうめ[illegible]け
[illegible]ごとおうとあすそ[illegible]くせだものはれてこのかて[illegible]
みなはひてれいうてこて[illegible]くらはれるくいしく せよ
[illegible]の酒ぐとを胃を[illegible]れ[illegible]くとすてちひ[illegible]
[illegible]ひぐ[illegible]くするかそ[illegible]ひぐ[illegible]てうしひぐ[illegible]

蜜煎うん天小豆ん[illegible]じそ
[illegible]うんしこのぐこりめぐして[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]すんぐ[illegible]くすち[illegible]ぐ[illegible]ぐするのち
[illegible]れとしぐものぐ[illegible]そ脇[illegible]
[illegible]

し

数こ郷

白胡麻ハあまく大くんよ[illegible]れ[illegible]とそ[illegible]

[illegible]ぐとるまあてとりてあさみ[illegible]ふつけて[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]とーさよ[illegible]じ血すぢとつじ瓜[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ハ[illegible]よゆくいさらよりのぐ[illegible]
醤油ゆ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ゆこそ口中のくさぢすち[illegible]
[illegible]ゆこそすぐて八胃のふ[illegible]

菓子郷

香薷ハあまくうんうりぬぐ[illegible]
[illegible]けぬちまうぐ[illegible]
越瓜ハあまくひえるのさけとりす[illegible]
[illegible]りとさまいの人[illegible]
[illegible]りハ小豆んつじうりさ[illegible]

ちゃうはかさうえんまよりもやまいをすくふなり

菓子こし部

椎はくんろうぜんまんまきらまちうこのまちつそれ
もぬとてうのふあらへちくもぜんふ刻こてちくとすくもろ
もぬこしとい血とうごうてやぐうるうる又目ぬぐくちうのて一分ぶ

香こし部

白蜜はくんれんめうりこまんれんをうちうちぐうちくとくちくこもくうの
ちくこえれはひぬとそれへこうもちくくまんれんはねあせとこひうりのたうり
鶏はうすまとをこのひそどくりれ

奥こし部

白奥はちくとをいまそひぬにうう目とあこうこうふまちくとくすちうり
ちををはたんあこうれひ はぶ

蜆貝ひ手の殼つをちくこあもく目とあこうこうふこけれどくふ時
ちぐめぐはんつじ胃とひくくあもけれちけちくぐどちちうり
ちぐめぐいまだんふう蕎ぬとばぐやうぐどひにせをちうちうち
ちぐあうい部りちちくすあもいこまれるうぐおううあとし分量一

ひ

穀こし部

稷米はあまくひんのこうちくまんひぬふまわせこのとし分ぐ
ひへとてあり ちくする子どいこうやしぬぐうれ粥よあくじあ

草こし部

黄白はうくくあちりやうんれぐつぐどれうせうちりの
ひこりぐいちくぐぬうかのこれくみふちひのこれを刻する

ひるどぶまめこれはいとゆるそのぞ中そこのひくとのどくけを
ひるどいそこれはいとやうされいこそとどしてそうこれ
ひるどふがんとそこつじくりれひさうらいるむみどこれ
ひるどれ薬こそ中そこのひて目とあそこうふすうのどしし
ひるどぶこうらんてはすすぐつこうのやえい目はまふまれ
ひるどとゆの三月よるこそくすゆて蜜こそんとこそ
肉尊おまくるいうしゆくどたんをうぎきやこうひのどく
ひたけれようひうのいぐこどゆくこまこそうすべうこ
蕪のりおまおぐくうんぎくまりやうのそれうにう
ひさごこそうのきこそうてふがんとつじてしれ祓つこゆを
ひまこそこきまこいの今きこらふりすぐてはきゆくこぐうり
蕓菜おまくひえうのうれこそ目とあこそうふ祓つこうこう

ひゆこそいけこそうてこうこそくまんふがんとつじこれ
ひゆ分こそうのるまやえうこうのこをうこうこう
ひゆはこそこのひてこいこすすうこだうこそくこうこの
ひゆこそまりこうこするれぐこれ中こそ弟てゆうこをぶす
芝実おまくるこれりのうえこれはこそ弟ていこうゆうこの
ひここそこうぐここのすのうおくやこうこんぐこそうの
ひすこそ蜜こぐこうこうこうこうこれこれこれこれこれ
枇杷おまくひえうのうおぐこぐこうこぐこうこうこれを
びここれこうこここつぐこうこうこうこうこうこうこうこれ
びここうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこれ

菓子こ祓

香こ祓

言葉こそわるくうんすわるぐ風ことそだちのしたことゆをく
ぬぎりてぬかりなるあんにんたちみさうぐみさのこんやしらぐず

七　穀こ部

糯米ちまきくうんぐりこぐ九とめす中とおくうむ
りら米ハ米とうくしすぐゆるめうくらんぐいぢすりりのまち
りら米こんにちりとぐでうそくなくこおんるふさらふりのるり
りら米とおりくんにんてこ紙とおぐみの藤ひりれこーいぐうくとの

菓子こ部

椎こしまおまゆしてゆ椎つしのおぐこそくとして強ぐこすうる
りくんのてこぐいとおずまぐりくるくるこんびやくくしたおくろりのるれ
りめまれまてくこぐくれのどくーあつしれすうくんよぐこすぐ

せ　草こ部

馬歯莧おまをゆしてひえれのたふがんとつじこと すまを
をごりひゆ月とおをそうかまをけとをるあわをそどをひをのちを
をごりひゆん神つをとう山をろをのでれうつをとをひをりのをすり
をごりひゆをようをれりのやうををすり余とのでをらを和あ
をごりひゆをろをををすあをそ反斉にををしてをのあをふあを
をごりひゆををべれんのをゲりれををもりりのるりすにををゲー
をごりひゆをーひをーりをゲりれにををうををふをけゲ地
をごりひゆるををあをすりてをを家ををゲふあを、ゆをりのをり

一

菓子よし部

菓子をゆををゆをくるいをんれりの中ををれのひを家をゲゆーあり
すりをばあるくををくすかをを神ををす薩や蜜ををらをすのく

すりくれあ神のふをををふををゆををりやにをゲひよ

部

薩をををんれりのをくハ色やをとをにて出へをゆをりをり
すあめををあるひをををくあをてけををあるれを食をををりを
すあめををあれを三月に字をりるりをんやををふをれのの二分る
一ゲあのあををををゲあるをのをゲれ神いりやにをゲひよ

部

奥し

鱸るをいあをゲをををのひをををかをを色て腸胃なりあゲ
すゲれをを根部ををゲするをのるわやをあををふをりを三をくすゲをを
すゲれをを子よびをゲにあをたりを色すゲをれハありををやゲをん

和哥会抄本中巻之下終

毎月之禁忌

正月　なまめて　なまひとつ　あり　たぬき
二月　たなさ　かきもち　なまこ　たで　九日魚を食せず
三月　わんこ　たで　ひとり　けごめ　のえと　九日ふくを
四月　ふかざ　ひとつ　みそ　しく
五月　ちち　山椒　新まいたびとうもろこしを　食を
六月　がん　わひら　さいはし
七月　ひ　わざ　がん　蜜
八月　みそ　そば　うふ　かぼちゃ　なこ
九月　そば　ふ　かぶら
十月　いのこ　さんせい
十一月　ひらめ　ゆず　あ

十二月　みかん　うふ　あ
たつ　ちち　食　そば　鯛　ひとつ　ちし
かつ　いわし　ひらめ　かつお
病者者に食をすべからず
ちぶ○ふかし○こぶ○わらび○ゆず○なと○めだら○ぐぜ
いりこ○ふさ○ちわび○ちじ○しざ○わと○ちぶ○ちち
ムちまめ○かつ○ちんこ○ふ○ゆこと○たら○うこぎ
ちこ○いちご○たこ○さば○り○山のいも○ゆ○ちぶだち
ひれものをえこぶ
たこ　ちぶ　見合食をすべし
長病日
六日　十八日　十二日　廿八日　廿九日
右月灸針業とすべし　剛ゆべからず

四季免忌事

春八月の末。夏八月の末。秋八月の末。冬八月の末

血忌日

正月は二月の巳。三月は子。四月は六月。六月は

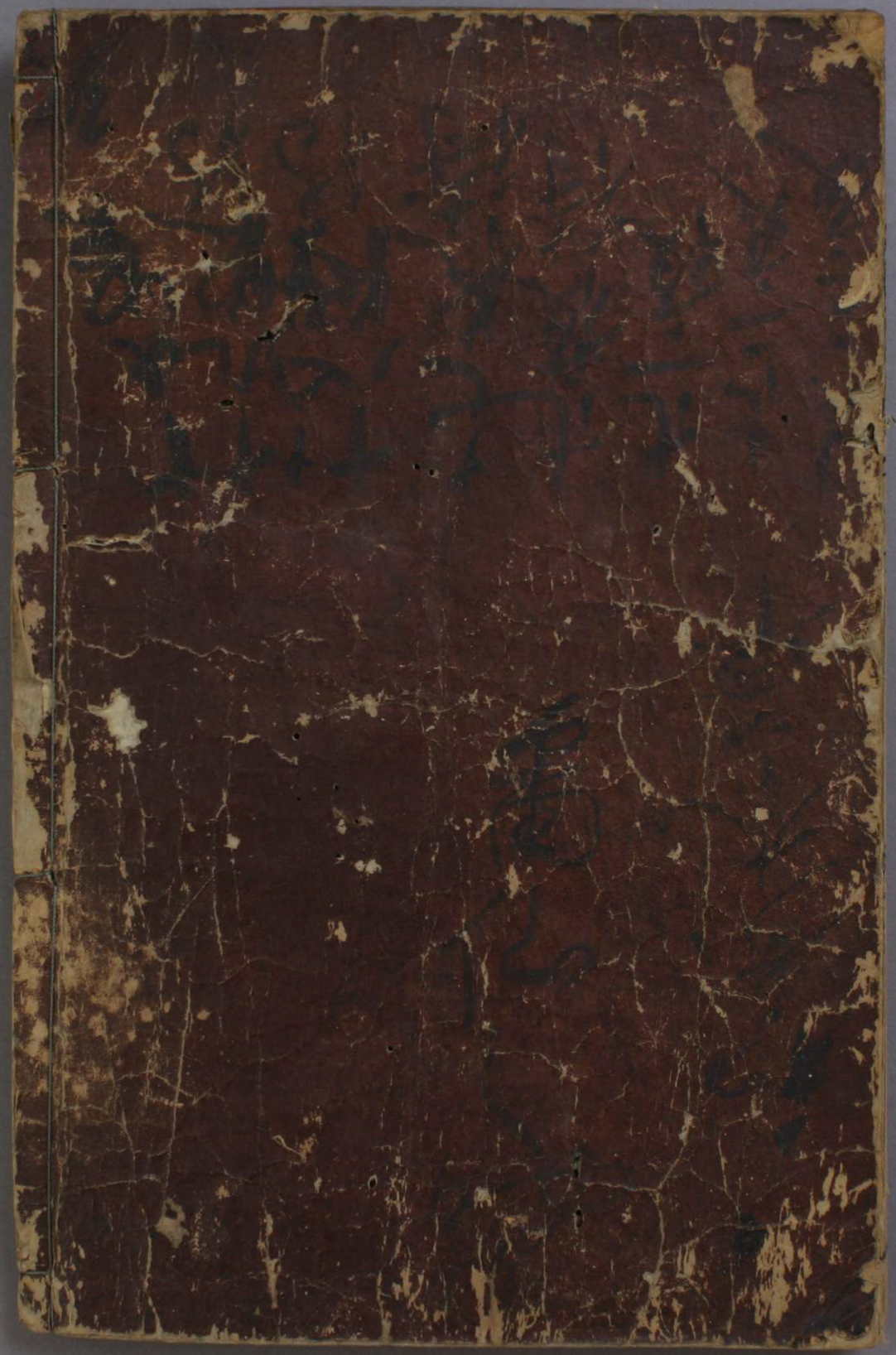
七月。八月は九月。九月は十月。十月は十二月。十二月は

右此奇妙第治今世多流布或

偽名説或悪義取俗有り多加此

味を本刊摺之事

寛永十九年

壬午九月吉日　寺町誓願寺前

安田十兵衛開板